

出張まちづくり懇談会

第六弾

多古町商店連合会および
商工会役員との懇談会を開催

各種団体に町長が出向き、町民の皆さんと直接語り合う『出張まちづくり懇談会』。その第六弾として2月12日、多古町商店連合会および商工会役員の方と16人との懇談会が、町商工会会議室を会場に開催されました。提案されたテーマなどに基づき、活発な質疑応答や意見交換が行われました。主な内容をお知らせします。



商工業の振興について

質問◆「定額給付金の支給に合わせて、町内で利用できる商品券の発行はできないか？また、町ホームページに事業所の広告を掲載したり、防災行政無線を利用して事業所の広告放送を流したりすることはできないか？」

町長・総務課長・企画財政課長●支給が決定した「定額給付金」については、現時点では支給時期や手続き方法などの詳細は決定していませんが、原則として口座振込により支給されることになっています。

よって、定額給付金の支給に合わせて、町内で利用できる商品券を発行する場合は、その商品券を町民の皆さんに購入してもらう必要があります。



現在、地域経済の活性化を図る点からも、町からの補助金分を上乘せし、町内の事業所で利用できる、い

てか、近年、アクセス数が増加しています。

このような中、情報発信の手段として、町ホームページが果たす役割は非常に大きいものがあると言えますので、内容の充実を図るとともに、現在、地域経済の振興策の一つとして、町ホームページに事業所の広告（バナー広告）を掲載できるように、必要なルールづくりやシステムの修正作業などに着手しているところです。

なお、防災行政無線を利用した事業所の広告放送については、法的に



多古台開発について

質問◆多古台の開発は、町の活性化や今後の魅力あるまちづくりに欠かせないものと考えます。現在の進捗状況と今後の方針は？

町長・地域振興課長●多古台開発の状況としては、現在、多古第一小学校から国道296号までの都市計画道路に係る一部擁壁の設置工事に着手しているところです。

この都市計画道路の総延長は1.7km、幅員は16mとなっていますが、このうち650m分が現在未供用となっています。

この部分については、国から受けられる補助金の状況にもよりますが、平成21年度中には道路工事を完了させたいと考えています。

多古台の大半は、民間による住宅

防災行政無線で放送できる内容が制限されているため、対応することは困難です。

※本懇談会終了後、多古町における定額給付金の支給時期や手続き方法などが決定しました。詳細については、2～3ページをご覧ください。

開発を計画しており、都市計画道路の南側区域には公共施設の整備も検討しています。

住宅開発については、昨年4社から応募があり、各社それぞれが特色ある計画を提案してきています。

現在、提案された個々の開発計画の内容について検討しながら、多古町にふさわしく、より実現性や信頼性の高い計画を見極めるべく、慎重に協議を重ねているところです。



わゆる「プレミアム商品券」の発行について、商工会と協議をしているところです。

今後も、このような商品券の実現化に向けて、発行の方法や、より多くの方に購入してもらうためには、どの程度の額を上乘せればよいかなど、詳細について引き続き商工会と協議を重ねていきたいと考えています。

一方、町ホームページについては、以前からテレビやラジオなどのマスメディアを通して、町のPR活動に積極的に取り組んできた効果もあつ



また、多古台の開発はもとより、今後、優良企業の誘致などを促進する上でも、交通網の整備や交通アクセスの改善が必要不可欠となりますので、国道296号の4車線化や空港アクセス道路の整備、パーク・アンド・バスライド（駐車場併設バスターミナル）の誘致などについて、関係機関に対する働きかけを積極的に行っていききたいと思っています。

北中地区への工場誘致について

質問◆北中地区への東洋合成工業（株）の工場誘致の現状と今後の見通しは？

町長・地域振興課長●北中地区における東洋合成工業（株）の工場誘致については、雇用の場の確保と、それに伴う人口や税収の増加など、多古台開発と同様に町の活性化を図る上で非常に重要な役割を果たすものと考え、計画当初から誘致の実現に向けて全力を傾けてきました。

しかしながら、開発許可申請は出されているものの、排水同意を得られておらず、今後の見通しも立たない状況となっています。